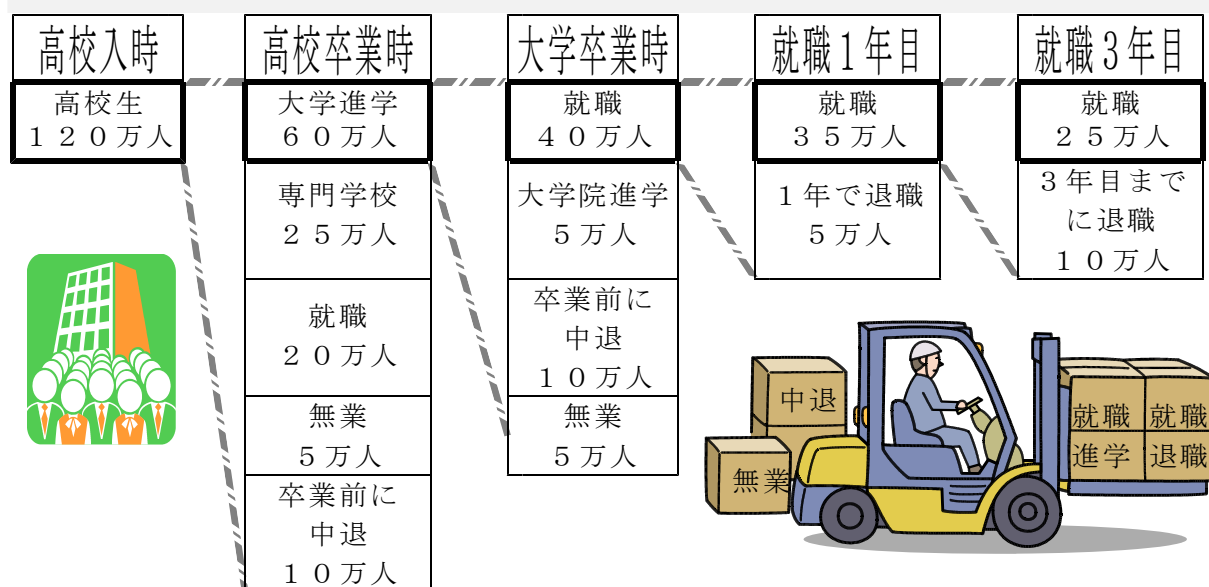


11月に入りました。3年生のみなさんは、私立高等学校の受験や茨城県公立高等学校の推薦、千葉県公立高等学校の特色感選抜について取り組み始める時期となりました。1・2年生のみなさん、インフルエンザが流行っていますが、自己の体調管理を徹底し、充実した日々の生活を送れるようにしましょう。

## 近年の高校入学後の進路状況です

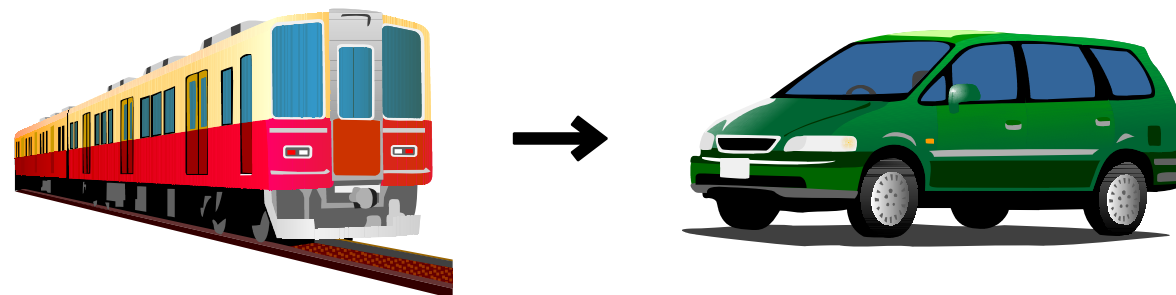


これまでは学歴社会で通ってきた日本の社会も、学歴社会から学力社会へと変わりつつあります。大学を卒業することで学歴を得ることができます。しかし、上記の表を見てもわかるように、学歴を持っていても仕事を続けていくことは別の問題のようです。この背景にはどのような理由が存在しているかはわかりませんが、昔のように定年まで一つの仕事を続けることが少なくなっているのが現状です。

なぜ就職したにもかかわらず退職してしまう人が多いのでしょうか。自分の適性に合わない、仕事がきつい、他にやりたいことがある、など多くの理由はあると思いますが、就職後に気がつくからこそ、このような結果になっているのではないのでしょうか。「今すぐに自己の将来を決めろ。」というわけではありません。これからの生活の中で多くの経験を積み、自己の適性にあった生き方を見つけることが大切です。

そのための第一歩として、波崎四中生のみなさん。近くの目標（3年生においては高校入試等）はあると思いますが、少し自分と向き合ってみましょう。今まで気づかなかった自分が見えてくるかも知れません。また、新しい自分に気付くことができれば、新たな進路も見えてくるはずですよ。

# 電車から車へ



以前は、学校を卒業後、すぐに就職するのが当然でした。現在は、学校卒業後、すぐに就職できない場合もあり、いろいろなパターンを経て就職します。

これまでのように、学校卒業後、就職、定年退職、といった行き先の決まったレールの上を走る電車型から、現在は自ら道を選び進んでいく車型へと変わりつつあります。変化の激しい時代を、これから1人で生きていかなければなりません。そのためにも、1人で生きていけるだけの力を早い段階から身につける必要があります。

## 中学時代の経験と職業

20歳～34歳全国978名を対象とした調査（2005年） 雇用開発センター

	正社員	フリーター	ニート
○学校を休みがちだった	5.9%	11.3%	42.4%
○宿題をやっていないことが多かった	19.2%	32.0%	36.4%
○忘れ物をすることが多かった	17.4%	27.6%	39.4%
○友人が少なかった	17.4%	28.0%	42.4%
○部活動をしていなかった	15.0%	27.4%	54.5%
○成績が良くなかった	27.3%	40.9%	48.5%
○学校生活が楽しくなかった	19.2%	26.9%	48.5%

※ニート・・・雇用から離れ、教育も職業訓練も受けていない者

みなさんは、上記の表から何を読み取りますか？質問の内容は学校生活に対してマイナスの質問ばかりです。数値を見ると圧倒的にニートの数値が高いです。より良い中学校生活が、その後の進路へと影響することが読み取れます。

1・2年生のみなさん、より良い学校生活が、みなさんの進路に少なからず影響を及ぼします。日々の生活が充実したものになるように意識していきましょう。